新電氣生活*

正會員 西岡俊雄

私のお話は家政學部の方には餘り役に立たない氣が致しますので本來なら教育學英文學等を専ら研究し直接主婦となるのに縁遠い方に役に立つのではないかと思います。

私が只今お話致します事は極く卑近な事でありますから細かに家政學に就て研究してお出でになる方は既に御承知の事でありませうからそんな事位知つて居ると云ふ方がありましたら御許しを願ひます。御婦人相手の事でありますし其に私の家内は皆様と御同窓でありますが今日私が出掛けます時に貴方は女子大學に行つてお話をなさるさうですが變な事を言ふと私の恥になりますと注意を受けまして實は講演は今日初めてありますが今日は少し上り氣味で年の割にワクワクして居る形であります。

お話は電燈の點け方とか消し方とか極卑近な事を申し上げるのでありまして特殊の機械に就ては大山先生が細かにお話して下さいますので私は文化生活に電氣がどんな形で這入つて居るかとか云ふ事を2,3お話します。

漠然と電氣と申しますと貴女方のお母さん姉さん位の方ですと電氣は高いもの同時に怖いものと云ふ事が直ぐ頭に來るのです。それは電氣と云ふものを能く御存じないからであります。一面には今日ではラヂオ等のお蔭で、電氣の智識が發達して來ましたからそんな事位聞かなくても知つて居ると云ふ事もあります。

學校等で電氣の智識は先生が教へるものと思つて居ります。其先生は、どうして新智識を得るかとか云ふとこれがなかなか難かしいのであります。世の中がだんだん騒がしくなつて來ると新聞を見ても小さい活字はなかなか見ないで、上海問題とか滿洲問題とか大きな事ばかりに目が止まつて卑近な事は目に這入らない。かう云ふ智識は、日々の新聞を見れば出て居るのですが見ないから知らない。肝心の教へる先生が知らないから生徒は猶知らないとか云ふ事になるのです。又生徒も新聞を見て狼狽者の熊さんの所を見たり女性相談の悩める女性やKと云ふ青年と懇意になりすぎた様な記事ばかり見て滿洲問題等は荒木さんのお話がある迄は、そんな事があつたかと云ふ様な状態です。デパートに行つても只ぼんやりバラッソルや化粧品陳列を見てだんだん上に昇り食堂に這入つて、たべて歸ると云つた調子で上野松坂屋にしても銀座松屋にしても三越にしてもデパートには必ず面積の一割迄は電氣商品を陳列して居るものであると云ふ様な事には一向氣がつかないのであります。

一體人間は何故教育しなければならないか。床に唾をする様な下等な人間とは、一緒に住んでは居られないといふイデオロギーがあると同じく人間を教育しなければならぬといふのは教育のない

* The Recent Life due to Electricity, By T. Nishioka, Member.

昭和7年10月18日日本女子大學校に於ける講演筆記

人と時代を同一にして居るのが嫌だから教育するのです。日清戦争時代には女學校の数が7つしかなかつたとの事であります。吾々の母の時代には、凡そ千五百萬人の人口に對して7つの女學校でボツボツ教育して居たのであります。今日は貴女方を初めとして女性の高等な學校が澤山出來て來ました。斯の如く女子教育が盛になつたと云ふのは女に智識を與へるのが利益だと云ふのではなく一般に男子は智識のない女とは一緒に住んで居れないと云ふイデオロギーを有つて居るからであります。

偕て電氣が吾々の生活の中に這入つて來る形態を見ますと光と熱と力の3つに分ける事が出來ます。それを具體的に言ひますと光の中には電燈類があり、熱としてはアイロン、電氣ストーブなどがさうであります。力としてはいるのは道を歩いてゐて第一に目につくのは電車であります。家庭に於きまして扇風機、ミシンも有りませうし洗濯機械等又郊外生活なら電氣ポンプ等も其類であります。

斯の如く電氣各方面は各々其特色を發揮して居りますが特色を發揮させて居ると云ふ事が文化生活だと云ふ事になるのであります。然らば第一に光に就てお話を致しますと電燈を點けると云ふ事は決して贅澤な事ではないのでありまして吾々の命を延ばすと云ふ點から考へて見ると、若し燈火がなかつたならば吾々の命は日中8時間だけが自分の命であります。眠る時間は休息でありますから生命から取除かなければなりません。所が電燈のお蔭で夜間を多くします。4時間延長したとすると吾々の生命は5割増した事になります。この様に命を延ばすと云ふ意味で電燈を點けると云ふ事にもなります。成程電氣と云ふものは有難いものだが經濟的に考へて、どうであらうと云ふ質問が起ります。所が誠に經濟的なものでありまして例へば東京市内で言へば60ワット位の電氣を4時間點けるとして1日3錢6厘、1ヶ月1圓8錢であります。其で1圓8錢で何が買へたかと云ふと1ヶ月の生命の半月分が買へたと云ふ事になります。もう1つ違つた角度から電燈生活の經濟を考へて見ませう。電球の値段は大體30錢位のものであります。所が女の人は30錢の値段のものが25錢で買へたら安いと考へます。近頃夜店やテンセン・ストアに行けば10錢で買へるから、非常に安いと考へるが其處にどういふ風な經濟生活に悪い影響があるかを御存じないのであります。値段の高い電球と安い電球を比べると能率が1割位違ふのが普通であります。30錢の球を買へば間違ひはないのでありますが安い球を買ふと1割以上の損であります。それは同じ明るさに對して電氣を澤山使ふ事になるのです。其處で1割違ふと云ふ事を頭に入れて勘定して見ますと1つの電球の中に費される電力は14,5圓であります。そこでよい球と悪い球とは1割の損があるとして悪い球を使ひますとつまり1圓50錢を損する譯であります。ですから夜店の球を10錢で買つたのと、夜店でない所から30錢で買つたのと比べて20錢得した。而して1圓4,50錢の損を見ると差引1圓2,30錢の損で10個あれば12,3圓損する譯であります。損をしても構はないとなれば趣味の問題ですから悪い球を使つても構はないと云ふ事になります。

經濟を伴はなければ趣味生活にはいるのであつて講義する必要がない譯です。それから暗い球があつても點くからと言つて使用しますが今日の新しい電球に對する智識は、暗くなつたら棄てしまふのが經濟と云ふ事を教へて居ります。然しかう云ふ事は婦人の方にはなかなか出來ない事であ

りまして男でもどんどん安く電球が手にはいる様な人でも古くなつたからと言つて片ツバシからどんどん棄てると云ふ事はなかなか出来ない事です。其處で話がくどい様ですが安い球を買ふ事があるとそれは1割の損をしなければならないと云ふ事と、ガラスの黒くなつた電球が却つて不經濟であると云ふ事を申し上げて置きます。校門のお玄関から、こちらに來る廊下の中で電球を注意して見ますと（私は電球専門ではないが）大學で使つてはならない球があります。趣味の問題でありますならば仕方ありませんけれど、其う云ふ悪い球は使つてはいけないと云ふ事の教材であります。もう少し電球のお話を致しますと學科目によつて夜間の勉強をしなければならぬと云ふ時、例へば繪をかくと云ふ時に夜ですと黄色と白の見分けが出来ません。晝見ると色が變つて居ると云ふ事は能くある事です。こんな時には晝光色と云ふ電球がありますが太陽の光線に似た光を出しますから圖畫のお方が使はれるのに好いと思ひます。其から此中に英文科の方があれば英語の本は大抵字が細かいですから其う云ふ方はカナリヤ電球を御使用になると眼がつかれなくて好いと思ひます。何處の電球屋でも賣つて居ります。一寸見ますと貴女方の中で近眼の方が大分居られる様ですが、それは貴女方の罪ではなく親がさういふ智識を持つて居なかつた爲であります。これから貴女方がお子さんをお育てになる時或はお妹さんが勉強なさる時など又は現在貴女方のうちに今は目は好いが細かい字を見て勉強すると云ふ人はカナリヤ電球をお使ひになると好いと思ひます。此電球はガラスにウラニウムと云ふ特別の金屬がはいつて居て目に害を與へない電球であります。タカが電球位の事でありますから貴女方の巾着からお求めになる事が出来ます。目の疲れる方などもこれをお使ひになるとよろしい。又カナリヤ電球から出る光は黄色ツボイ和やかな色でありますので應接間あたりにセンチメンタルなロマンチックな空氣をつくる場合にはカナリヤ電球がよろしい。晝光色は色としては固い感を出しますから部屋中が眞面目な氣分になつてしまひます。電球に關しては別の機會に先生が話されるでせうから此位にして次は熱のお話を致しませう。光と熱と力でありますから其中の熱としまして電氣を取入れる場合は、手ぢかな例はアイロンであります。皆様も御承知の様に吾々の母の時代には、金柄杓に火をいれて鑊をかけましたが、今日はそんな人はありません。炭火と電氣アイロンとの中間には瓦斯で鑊を暖めましたが、此も具合が悪いので間もなくすたれました。同じ様な條件の下にヘヤー・アイロンがはいつて來ました。ヘヤー・アイロンも初めは火鉢の中に突込んだのですが、現在は電熱をもつて溫度を加へます。然し炭火や瓦斯やアルコール等で加熱するときの缺點としては、やはり適當な溫度を保つ事が出来ないで熱く熱しすぎると毛が焦げるし又溫度が弱ければ、いくらかけても駄目ですからジレツタくなつてしまひます。其他電氣茶瓶、紅茶沸し、大きなものになりますと電氣七輪。電氣竈等が家庭にはいつて來て居りますが、値段が比較的高いので何處の家庭にも行き亘るにはまだ多少の年月を要する事と思ひます。繰返して言ひますと便利一方では生活の中に到底取り入れられないのであります。外のものより得と言ふ金錢上の事を考慮に入れて取入れるのであります。どうしても小さい家と云ふ事を中心にして考へると經濟が主でなければなりません。例へば電氣で風呂を沸すのに深夜間電力料金制がない地方では、大變高くついて却つて損であると云ふ事になつて來ます。つまり非常に金がフンゲンにある人ならいざ知らず、其うでない人は便利でありさへすれば好いと云ふ事

にならないのであります。深夜間料金制のために關西では電氣風呂が多いが、東京では電氣風呂が少いと云ふのは電氣料金が關係して居るのであります。間もなく東京にも此制度が出來ますから電氣風呂は勿論もつと便利な、電氣の使ひ方が現はれて來る事と思ひます。其から料理にも電氣を使用して居ります。料理の先生の或人々が、電氣では料理が出來ないと云ふ風に言はれますが、瓦斯も使ひ初めの時には料理には駄目だと言はれたので、電氣が出來初めに電氣が駄目だと云はれるのは當然です。馴れた事から新しい事に移る時、物には反對に動き易い僻があるから矢張瓦斯から電氣に移らうとする時も其僻が出て來て何かなしに反對して見ると云ふのであります。年寄が若い人に反對すると同じ様に古い事に固着する性質が充分にあるのであります。料理が若し電氣で出來なければ帝國ホテルや電氣俱樂部の様に電化した所では料理が出來ないのかと云ふ矛盾がやつて來る譯であります。東京會館でも洋食を作るのに電氣を使つてやつて居りますし、鰻めし屋とか鮎屋等も電氣を使つてやつて居りますが御はんが具合好く出來ない位なら好いおすしなどは出來ない筈であります。要するにさう云ふ様な事は取るに足りない理論で自動車より馬車がいと云ひ切ると同じ事だと思ひます。かう云ふ話は餘談でありますが然らば今度は熱に關して室を温める電氣ストーブの事を申上ませう。法曹界で有名な花井卓藏博士は、瓦斯中毒の爲に亡くなりました。其他瓦斯中毒の例は、澤山ありまして、ある區役所の小使が炭火の瓦斯中毒で死んだと云ふ事を聞いて居ますが瓦斯には、注意しないとかう云ふ様な危険があります。人間の生活に是等危険物の使用は甚だ時代遅れとなつて居る事を證據立てるものであります。構造を嚴重にして瓦斯管を踏んでもつぶれたりはずれたりしない様にすれば其危険は免かれる事が出來ます。もう1つ經濟の方から考へて見ますと矢張電氣の方が經濟なのであります。我々が極貧弱な家庭を想像して見まして（極貧弱な人の家庭と考へて置けば間違ひはないのですから）電氣炬燵は、アンカの炭團や炭に比べて遙かに經濟的であると云ひます。一概に高いと思ひ込んで居るのは吾々の母親の時代に高い電燈を點けて居た遺風であります。今日電燈代は1ヶ月カナリ勉強しても1圓5、60錢でありますが昔は8圓位かゝつたのであります。今日のこの電氣料金で或は電氣代が高いと云ふ者は、一家の主婦として一層教育を要すると肯かれるのであります。どう云ふ所が高いかと云ふ事を知らないで居るのです。私達から言はせれば炭團を使ふ人は金銭上の損をして居ると思ふのであります。燈火に關しては、常識が發達して居りますが熱に關しては知らない人が多いのであつて立派な經濟學者でも電熱に關する經濟は知らないのであります。然しさう云ふ様な事は男から教へられると云ふものでなく、婦人自らが御研究の上に自分の生活を自分で改善して行くのでなければ、向上するものではないのであります。男子がいつでもして呉れるとは限らないのでありますから婦人は自分で卒先してやる様でなければなりません。其次には力と言ふ事に就てゝあります。それも私のお話のあとで大山先生のお話の中に出て來ると思ひますが力として家庭の中で使はれるものは、何が一番有難いかと云ふと直に掃除機とおつしやるかも知れませんが真空掃除機ばかりでなくもつと大事なものは、ノートをおさりになるならば洗濯機と電氣冷蔵庫と書いて下さい。電氣洗濯機は1週間の洗濯物を約1時間でやつてしまひます。此學校では、大橋先生が今から12、3年前に御自分でお求めになりまして御體驗がありますので先づ家政學部の方は大丈夫でありませう。教育學や文學や社會學をやつ

ていらつしやる方々は、家庭にはいつて洗濯をする等は恥辱位に考へてゐらつしやる様でありますがこの洗濯機を利用すれば、時間の經濟にもなつてあまりの時間を利用して勉強も趣味の生活も出来ます。それで前申しました様にこの洗濯機を使ひますと1週間の汚れ物を1時間で洗濯する事が出来ますが其費用はと言ひますと1錢5厘しかかゝらないのであります。さうすると1錢5厘の電気料で1週間分の洗濯が出来る譯であります。假に女中の方の身になつても女中は洗濯するのは役目であつても殆ど朝から晩まで1日かゝつて居たのでは仕方がない。又妻君が運動の爲にやられるにしても1日ゴシゴシやつたんでは運動にはならないで病氣に成ります。1錢5厘の葉書1枚の代金で1週間分の洗濯物が全部1時間で出来ます。其にこの1錢5厘を惜んで朝から晩まで洗濯板にゴシゴシやつて居ると腰が痛くなる。衛生から言つても毒であります。冬ですと垢切れが出来て来たり、面白くないのでしかめつ面が出来る。其が続くと皺になる。あゝ嫌だ嫌だと思ふから、しらかが生えると云ふ様に婦人の美容をも傷つける事になります。若し若い方が戀愛結婚をなさるとしても、斯う云ふ事に理解のある男をお擇びになる事が必要と存じます。何故ならば妻君に勞働を強ひて身心を酷使するのは、なしくづしに殺すと云ふ事になります。殺す様な男と結婚するのは考へものと思ひます。扨て次は冷蔵機の事を申し上げます。氷代にしますとどうしても20圓かゝりますが電気でやると2圓50錢で済みます。20圓の氷代を2圓50錢で済ます金の方から考へても疑問の餘地がないのであります。新家庭とか無人の家に得體の知れない氷屋の人足が氷を運んで来ると云ふ事は、其主人にとつてもあまり快よいものではありません。電気冷蔵機の其他の特徴は大山先生に譲りまして只經濟的に考へただけでも好いと云ふ事がはつきりして居るくせに文化生活に取入れる事が出来ないとすれば、どこに缺陷があるのでせう。買へない否買はないと云ふ事になると一體教育されて居るものは何を教はつて居るのか分らないのであります。電氣が力として家庭にはいつて居るものには其他電氣時計、扇風機、ミシン、真空掃除機等澤山あります。

要するに電氣の恩恵を取入れる事は贅澤でなく生命を買ひ求める事でありますから雜務は機械にさせて自分の命でもつて學問をするなり趣味生活をするなりして、本當の自分の命を生かさなければならぬと力説するものであります。